画本註釈

為家卿文章

完

嵩家用文章

雑説序

何うぞ筋学の助ともなる人先こう
うものもひとも人先こう
助ともなれかしと
出ることを書房の主
序よ業をところ
全一巻とあり萬
接ふやう
う社会月の未京稔乃弘文堂
実月書のあう

古今
秋色
玉章
紀支則

○此書文章は淺しと雖も漢字を眞字と書かんは俗用を旨とすれば也又たゞの一つ脚れをも假名に俗和訓の草字をあらく更ふ也さづするようにて書成あらためて清書えこれ眞字の正しきをあらぐるが為よ全體ざう〳〵あしたゝ〳〵書たる自體をあらく表の眞字を夫ゝ加くよと安きを好んで草字をふく眞を止よふ〳〵と思ふるの初心の人ふかくうぐれかゝ

○文章目録

一 年賀祝儀状 弐丁
一 同 返事 二丁
一 同 返事 二丁
一 同 返事 二丁
一 三月當祝儀状 五丁
一 花見稿 六丁
一 暑中見舞 九丁
一 同 返事 十丁
一 七夕祝儀状 十一
一 中元祝儀状 十二
一 八朔祝儀状 十三
一 同 返事 十四
一 月見に招く状 十五
一 九月當祝儀状 十七
一 猪子祝儀状 十八
一 猪子祝儀状 十九
一 寒気見舞状 九一
一 同 返事 九二
一 歳暮祝儀状 九四
一 同 返事 九五
一 物淂文中書状 九七

一 注文之通差状 三十
一 菊人ゟ合状 三十三
一 書中差状 三十五
一 箕輪遠中差状 三十八
一 為智知状 四十
一 下谷先ゟ頼状 四十一
一 同 返事 五十
一 吸葛為知状 五十三
一 湯治見舞状 五十六
一 売先頼状 三十一
一 同 礼状 三十四
一 代銀催促状 三十六
一 同 返事 三十九
一 仕切銀為替手形之事 四十二
一 掛取ゟ銭之事 四十九
一 留主見舞状 五十一
一 通留ニ付礼状 五十五
一 同 返事 五十
一 近火見舞状 五十九
一 類焼見舞状 六十一
一 同 返事 六十五
一 病気見舞状 六十八
一 不幸礼状 七十
一 客を招く状 七十一
一 道具借用之状 七十二
一 振舞之會ニ礼状 七十四
一 同 返事 八十
一 同 返事 九十
一 婚礼祝儀状 八十
一 安産祝状 九十
一 元服祝儀状 九十一

一同　廿日　九十二
一添届状之事　百二
一稽古祝儀状　百四
一同　廿日　百六
一暑寒指扣状　百八
一年賀祝儀状　百一
一同　廿日　百三
一別家致状　百五
一家督祝儀状　百七

文章目録早

○附録

一文章書之辞　四丁ヨリ百九マデ
一諸進物之事　五丁ヨリ百二マデ
一封状諸目録廻状之式　百十一
一書状認之心得　四丁ヨリ百十マデ
一高下九段書分之事　百十一
一十二月之異名　百十

年始祝儀状

新春之御慶賀不可尽
筆頭御座重畳国安度
申納候先ハ清地御関和
御揃筆御安泰可被遊

御証歳珍重之御儀奉
祝申候年始之御祝詞申
上度存候得共恐れ憚御免
之時候恐惶謹言

同日

御名遣す状

改年之御吉慶目出度
申収候然者御進上物
無事御届被成勝手歳御越
珍重奉存候次而御序
如此御座候恐惶謹言

文章辞并詔勅得進物等之式 文章の因とそ所々よいぐさ

○鳳書 新暦 改暦 革暦 改旦 暫頭 暫序 陽春 新年 改陽 改春 改年 祝賀 慶賀 慶始 年序 年次 年甫 ○盡祭 祭限 休期 窮期 ○納収 ○籠 ○迂 暢演 伸展 ○御機嫌 安全 安昌 安栄 安寧 清昌 清福 清建 勇健 勇昌 勇猛 勇剛 堅固 堅昌 堅栄

堅勝　堅躰　堅福　平安　剛建　静昌　○超歳　超年　迎春
迎年　心陽　生三　直齢　越年　加齢　加年　○恐悦至極　恐慶
大慶　奉賀　奉寿　大悦　欣賀　欣然　欣敬　大幸　目出度
喜悦　賀幸　歓喜　○珍重　重畳　○乍恐　乍憚　乍憚外の
貴意　安慮　安意　安心　○為休意　○祝詞　祝辞　祝儀
愚札　愚書　愚翰　早書　捧呈　○永日　永春　永陽　遅日
○重畳ハかさねた事と従ふく悦の意ニ
もちゐまつる又ハ中ニ
ろぐ○法同お同生ハ同僚結ぶ
の人ニ
とあるハ
○年始進物
扇　昆布　半切紙　子代帋　ま
水引　墨筆　二ノ年紙
きんとん　白粉　たとう
ぼうし　小ぶろ敷　まゆ筆
揚枝　和布　小鮎
みかん　白うと　雁　雨木　木苺花
三月節句飾
祝義太の
祝儀図出ル

年賀の礼者
注連飾
鳥総松
雑煮
鏡餅
蓬萊飾
[illegible]

[illegible]
仕舞
謡初
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○上巳 三月三日 元巳 上除 [illegible] 曲水宴 ○春和 暖気 暖和 ○娘子 令嬢 愛玉 [illegible] 玉 [illegible] 国秀

○節句に [illegible] 節句 [illegible] 御祝 [illegible] 書べき手紙文言 [illegible] 貴人 [illegible] 祝う [illegible] 節句の [illegible] 御祝 [illegible] 書出すべし

○上巳の [illegible]

[illegible] 白ざけ 鮎 白 [illegible] 干菓子 [illegible] 花 [illegible]

花見獅子

獅子人を
喰ふ中の泳ぎ人を
喰ふ
頭より
喰ひ
亀

花見獅子

獅子人を喰ふ中の泳ぎ人を喰ふ頭より喰ひ亀

自雨中も服
立ち中将
打ち
續く
畢竟嵐

自雨中も服
立ち中将
打ち
續く
畢竟嵐

度〻於沼尻
往〻鮫島
〇満開 寂中〇日和晴天 曼晴〇同意 同腹〇本望 所望
直採の支度 調度 心構 心得
大網
一網
仕舞 請年〻の
儀同
度〻
仲間
網の衆全く歓
弥〻静寛
のかんぎ
これ
悪事 法名 賢
鳥柄人 當
蒲刀 鮫
網一

○重五 端午 端五 艾節 菖蒲之節 闘中之節 ○子息令子 和子 掌珠 令息 愛子 ○受納 受領 笑納 笑留 受笑 受掌 ○證印 誌驗

○端午進物

粽 菖蒲酒 菖蒲刀 座ざぶとん 生ぐるを 鎗甲 劔 ゑ

○何事にても進おくり書つかはす趣は御門前雇人等へ御用一揃と持くとあり又は書状にて御使ひ給べし ○又仕候とは又つかふまつるなり ○又白上書略して申べし ○又白上書略して申べし ○又白上書略して申べし

初更 初時 節序 粽 菖蒲 蓬 艾 懸戸 端午 競渡 紙鳶 凉気 温気 土用中 ○輕少 薄微 冬少 些少 黄昏 晩景 薄暮 暮天 芳問 ○賞味 幷味

○大暑 甚暑 強暑 酷暑 ○

○團扇 八一柄 二柄と かぞへ ○一番 八一枝 弐八一包 ○水瓜 南瓜 ○一ツ二ツ 幾つ ○一ツ 幾つ ○乞ふ ○乞ふて ○貰ふ ○貰ひ ○かす ○かして

○暑中進物

水仙粽 團扇 日傘 水瓜 布帷子 すゞみ 真桑瓜 茶 乃ぼり 釣しのぶ 金巾 蚊帳 水中の鉢うゑ 醴酒 蠅帳 釣すゞ 薄小布 田葉粉入煙草 蚊遣 小供茶屋 掛香 香ひ 半夏生 蒲 麦 蒲団 氷菓子 さゝら 額 新午 瓢 馬 涌泉油 幕 焼酎

七夕祝義

我妹

七夕

先規 先格 佳例 古例 順例 毎歳

七夕進物

素麺 梶 色紙短冊 捆

苧花 萩 蘭

〇七夕 捆機 星會 星合 綺筥

乞巧奠 七夕の 天河 銀河 〇先例

中元祝儀

一筆啓上仕候 中元

寛〻毎福〻
倦〻〻 ○中元 正月十五日 中元十月十五日
盆進物 拝面 得貴面 面上 向顔
剃さゝ ナラ〻〻 真素うう 干瓢 素麺 ゝゝゝゝゝ

八朔祝儀
七の 田實〻御祝賀同慶度

皆〻存〻寄〻合事和僉如
無心堅儀〻〻
被面々 備玉豊穣〻〻
秀戸枝楽〻〻時節柄
年〻皆〻存〻
囲炉裏酒一樽

稲穂穂垂
面賀く強
日吉東
御幸章
め来命八
園安慶中
水軍く悉
豊俄一入
おそ不及
南日高祝

作如くの小童
[illegal]
[illegal]
[illegal]

十六夜雲霧
れさそらぐ
くもあはせ
慶多分
れハこそ
志貴繩
業能
詩歌
沈湎
のいろ
こゑ
洋
○名月望月
名員月今霄之
九月節句

十六夜雲霧の
くもあはせ
慶多分
志貴繩
業能
詩歌
沈湎
洋

○名月望月 家中月 秋之一夜月
名員月今霄之月
九月節句

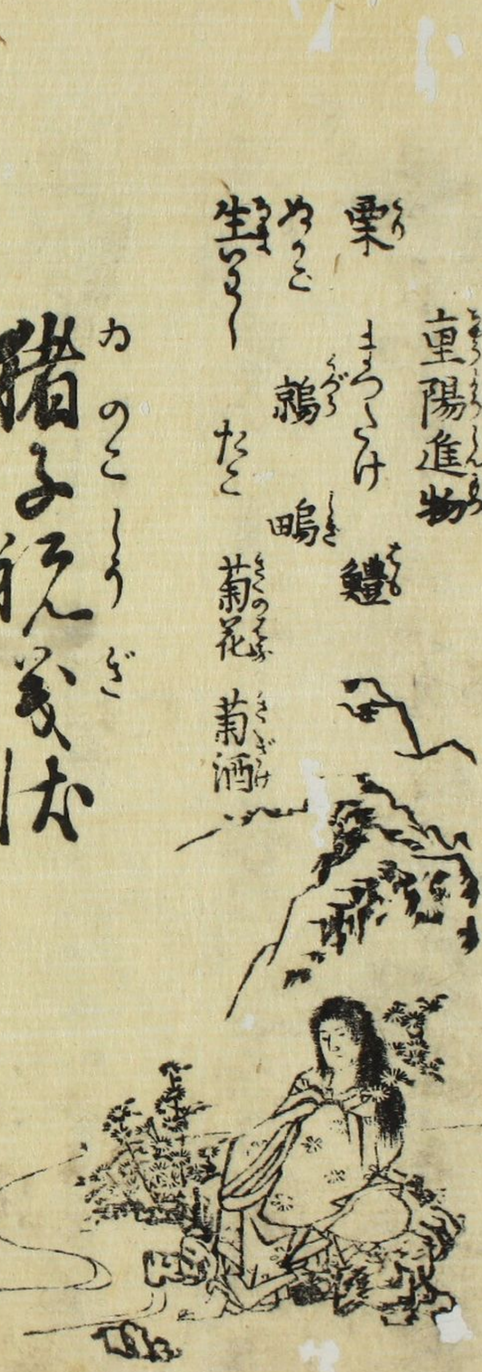
重陽の宴儀風雅を
攸なし冷
情を催し処
詩興雲極
野亭庭の菊花
一枝恩深
重陽の宴に
書を講じ詩を
この佳辰に
清香驚
ふく

重陽進物

栗　まつたけ　鱸

ゆこと　鵞　鴫

生のまゝ　たこ　菊花　菊酒



かのこうの

猪よく肥

ゆるに

手負猪しゝ追伐て国ゝを度

ゆきゝ乗人

それ献立ハ

料理人

能を人合

及ひ雑煮

御膳汁

御事ハ

く牡丹鏤つ童無闇中ん
ごとう　こ　ん
かゝ味ふ玄猪子
ひのいのこ
麥日祝。諸病萬病。遁避。雲霧百歳
ふでき
不出來　不調法

精悪祝儀状
しよ　ぐ
一書之
ん

答之文段々添清廉實
おく　ぎ　つく　ねんごろ　ぎ　ぜつ　ぜつ　ぜつ
こゝ義を作ゝ
ごとく　ねんごろ
ゝ子息勢
こ　そく　つる
佳き祖母
さそ
佳き成長和
ちやう
活社參
ろん　さん
折掛
うけ

凡そ懇ろの御示談
御書面を以て数通
御往復を重ね仕舞
置き仕舞の節お
互に義中屈

殴書并に御書状
慥に拝見仕候
末筆乍ら
奥様へ宜敷
御伝声
（成人育生立ち
器量の大人数

一筆啓上仕候
然者
御家内様
御揃御
清栄之由

御堂関白記

寛弘二年

正月大

一日　甲寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　乙卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　丙辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丁巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　戊午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　己未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　庚申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　辛酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　壬戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　癸亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　甲子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　乙丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　丙寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丁卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　戊辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　己巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　庚午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　辛未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　壬申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　癸酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　甲戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　乙亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　丙子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丁丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　戊寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　己卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　庚辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　辛巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　壬午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　癸未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二月大

一日　甲申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　乙酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　丙戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丁亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　戊子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　己丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　庚寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　辛卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　壬辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　癸巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　甲午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　乙未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　丙申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丁酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　戊戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　己亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　庚子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　辛丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　壬寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　癸卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　甲辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　乙巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　丙午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丁未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　戊申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　己酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　庚戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　辛亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　壬子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三月大

一日　癸丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　甲寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　乙卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丙辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　丁巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　戊午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　己未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　庚申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　辛酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　壬戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　癸亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　甲子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　乙丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丙寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　丁卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　戊辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　己巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　庚午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　辛未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　壬申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　癸酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　甲戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　乙亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丙子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　丁丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　戊寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　己卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　庚辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　辛巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　壬午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四月大

一日　癸未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　甲申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　乙酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丙戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　丁亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　戊子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　己丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　庚寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　辛卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　壬辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　癸巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　甲午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　乙未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丙申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　丁酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　戊戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　己亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　庚子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　辛丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　壬寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　癸卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　甲辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　乙巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丙午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　丁未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　戊申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　己酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　庚戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　辛亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　壬子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五月大

一日　癸丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　甲寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　乙卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丙辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　丁巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　戊午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　己未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　庚申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　辛酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　壬戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　癸亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　甲子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　乙丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丙寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　丁卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　戊辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　己巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　庚午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　辛未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　壬申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　癸酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　甲戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　乙亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丙子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　丁丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　戊寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　己卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　庚辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　辛巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　壬午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六月大

一日　癸未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　甲申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　乙酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丙戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　丁亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　戊子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　己丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　庚寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　辛卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　壬辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　癸巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　甲午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　乙未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丙申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　丁酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　戊戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　己亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　庚子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　辛丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　壬寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　癸卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　甲辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　乙巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丙午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　丁未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　戊申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　己酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　庚戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　辛亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　壬子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七月大

一日　癸丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　甲寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　乙卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丙辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　丁巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　戊午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　己未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　庚申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　辛酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　壬戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　癸亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　甲子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　乙丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丙寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　丁卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　戊辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　己巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　庚午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　辛未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　壬申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　癸酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　甲戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　乙亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丙子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　丁丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　戊寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　己卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　庚辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　辛巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　壬午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八月大

一日　癸未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　甲申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　乙酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丙戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　丁亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　戊子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　己丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　庚寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　辛卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　壬辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　癸巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　甲午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　乙未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丙申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　丁酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　戊戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　己亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　庚子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　辛丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　壬寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　癸卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　甲辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　乙巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丙午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　丁未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　戊申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　己酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　庚戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　辛亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　壬子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九月大

一日　癸丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　甲寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　乙卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丙辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　丁巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　戊午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　己未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　庚申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　辛酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　壬戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　癸亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　甲子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　乙丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丙寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　丁卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　戊辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　己巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　庚午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　辛未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　壬申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　癸酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　甲戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　乙亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丙子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　丁丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　戊寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　己卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　庚辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　辛巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　壬午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十月大

一日　癸未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　甲申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　乙酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丙戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　丁亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　戊子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　己丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　庚寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　辛卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　壬辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　癸巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　甲午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　乙未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丙申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　丁酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　戊戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　己亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　庚子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　辛丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　壬寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　癸卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　甲辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　乙巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丙午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　丁未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　戊申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　己酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　庚戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　辛亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　壬子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一月大

一日　癸丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　甲寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　乙卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丙辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　丁巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　戊午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　己未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　庚申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　辛酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　壬戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　癸亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　甲子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　乙丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丙寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　丁卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　戊辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　己巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　庚午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　辛未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　壬申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　癸酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　甲戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　乙亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丙子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　丁丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　戊寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　己卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　庚辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　辛巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　壬午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二月大

一日　癸未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二日　甲申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三日　乙酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

四日　丙戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

五日　丁亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

六日　戊子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

七日　己丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

八日　庚寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

九日　辛卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十日　壬辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十一日　癸巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十二日　甲午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十三日　乙未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十四日　丙申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十五日　丁酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十六日　戊戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十七日　己亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十八日　庚子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

十九日　辛丑　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十日　壬寅　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十一日　癸卯　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十二日　甲辰　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十三日　乙巳　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十四日　丙午　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十五日　丁未　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十六日　戊申　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十七日　己酉　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十八日　庚戌　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

二十九日　辛亥　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

三十日　壬子　天晴

従今日始行三箇日間法華三昧

寒暑節候見舞仕候仰
寒之節別而御座候処
皆様御揃被成御
勤奉恐悦候扨
御菓子被下忝
御茶間鶴印之美味
和布網黒豆味之佳
昆布巻昆布腰之
宜敷候扨又
御茶壺御口切之
先日御祝儀
御献上仕候

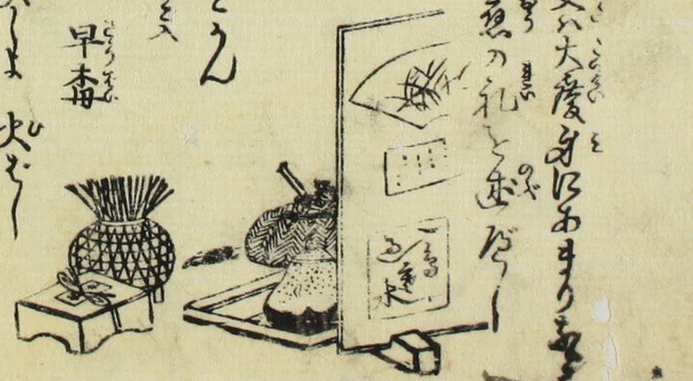
○寒中大寒甚寒、嚴寒ニ
嚴敷烈敷強凍氷ニ保護

保養加養○遑暇手誘用誘寸暇○里火火指○咄嘶
閑談語合物語昔語世語問語

○貴人のめしを給りたるをも冥加忝又は大慶身に
あまりありがたく歎よ洛陽の礼と申べし

寒中進物

雁　鴨　雀　氷魚　小鮒
塩の鱒　かしら　堰
薩摩　氷ざこ
紬　綿　真昆布　温石　早蕨
帛紗　手ぶくろ　焼米
炭　手あぶり　昆布　寒の紅



歳暮祝儀

無沙汰の罰大吉慶重畳
御慶
掛ても先ず申上候
猶期永日候
恐惶謹言
尾

歳末の祝賀の
入らく之早く
打角の仕舞
風雪度々新
ふらく宣

同廿一日

書状幷寒気
及ニ廿四日一
御意書并
祝儀

終年 春隣 春近 師走 月迫 節迫 押詰○大三十日 十二月の大晦日 除夜 大三十日○繁多 繁用 忙 開敷 多忙

○歳暮 歳末 年尾 晩年

歳暮進物

鰤 塩引 貝 昆布 若布 掃 金扨子 扨箸 あぶらげ 砂糖 幕 牛房 干茸 豆のこ 豆 白黒 沙草のり 昆布 焼ぐし 塩ざけ 塩鱒 扨 扨びきく 小豆 水引 紙 他田炭 たづこ

○上書 よろづ改まりめでたく御祝ひ申し納め奉り候 あらあら書き 乱筆 御免 後の一筆 添字 追而 又々 又白 又々白 又々 又々 又々

くべし○按ずるに侍るべく候と記すもあり此義一ならず○書状には多く用ゆる文の字あるゆゑに略字として用ゐるなり又如此文の字を書ずして候うと書くもあり○すべて書状の終りに書くべき事○書状の終りに書くべき事○書状の終りに書くべき事○

風情不堪言を
かんぜんを
機会差和
単書めん
〇尊公貴公尊所貴所
私下拙小子拙者拙子野拙愚拙

〇左こ字つゝひ二箱ありたるよし
又左のゆんとあどのふと記ありたるよし
左の字はかたく支を以て字付る事ありむくゆるの事
其〇時後日と斗りまぎらぬ一日今と
つゞそたる事暖候と日と共に

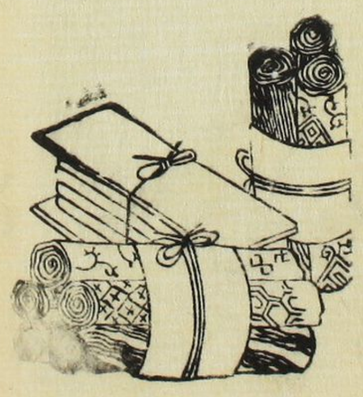
初度文中
書中
入来候

御序之節御鴻編御恵
別紙風雅集毎度御借
申居候処御返
之儀御忘却
しまゐらせ候

御序節御頼よろ
雲先頼入
申候

○早便急書
去月過月

この後長濱
[illegible]
多分ハ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

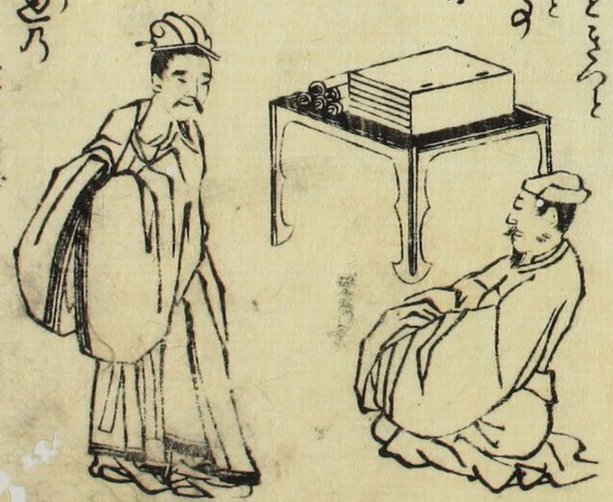


代長福一見之事又二年
せんちやうふくいつけんのことまたにねん
せんちやうふくいつけんのことまたにねん
御重使之事有之候間
ごぢうしのことこれありそうろうあいだ
みぢうしのことこれありそうろうあいだ
隙合落居
ひまあいらくきょ
ひまあいらくきょ

回礼状
かいれいじょう

墨浄雲健寿
ぼくじょううんけんじゅ
ぼくじょううんけんじゅ
時之頼之証書
ときのよりのしょうしょ
ときのよりのしょうしょ
清寿人
きよひさびと
きよひさびと
梅園四郎左衛門
ばいえんしろうざえもん
ばいえんしろうざえもん

○永久末長幾久敷○澤山多分餘程餘計



不調の儀ハ何時迄も
人々申合ハ先
よく度々見合て

○約定契約 約諾○拂底 乏○難儀 難渋 因入 當惑 心痛○
當次第○都合 探合
○約束 二言 無言の違 約束とハ約束にいひ約束とハ

義用通中書状

御手紙 仕物書 三冊 通
名所絵 御誂 御渕 如
中繕 申渡 置候 入
銀 百匁

不調法 不埒 疎忽 料簡違 不心得 不届 不念

○人の財宝をまどこし支まどこしをとりて一の倅の名義にする事を手柄と

思ふ心のあさましき事にて

○人のものをそこつにあつかふ事

常よき書物を一ふし一角ふくみ

ぬるしこれ忘れ草

○書物同じ事あるを遠慮

そこてそこ綱法もし人のものにとりて

とぶらひ招きくらはせんとする

時宜ありてふるまふさまのごとくまるみ

引くあるを其外実ある事共書べき事也

○謡吟味穿鑿

無益哉○不届 不行

為替取組状

一書拝呈仕候、然者先達而御願申上候
書面之儀、又々申上候迄も無之候へ共、
委細之儀ハ、此地御
何某殿方へ
も、御聞済被下候ハヽ、
当地御出会之上、
如何之義ニ候哉、
御報待入候、

一、銀為替手形
一筆啓上仕候、
御書面拝
御書面之内
御書面毎
御書面
御書面
御書面

下河先右衛門頼政

一番名古屋山三郎暉和

住吉踊安藤帯刀安康

武蔵坊弁慶市村羽左衛門

石井常有嵐雛助

狂言十度ノ何分娘ノ後

ふ知恵内宮こと華岳

奉免こと百端帖ノ添丁

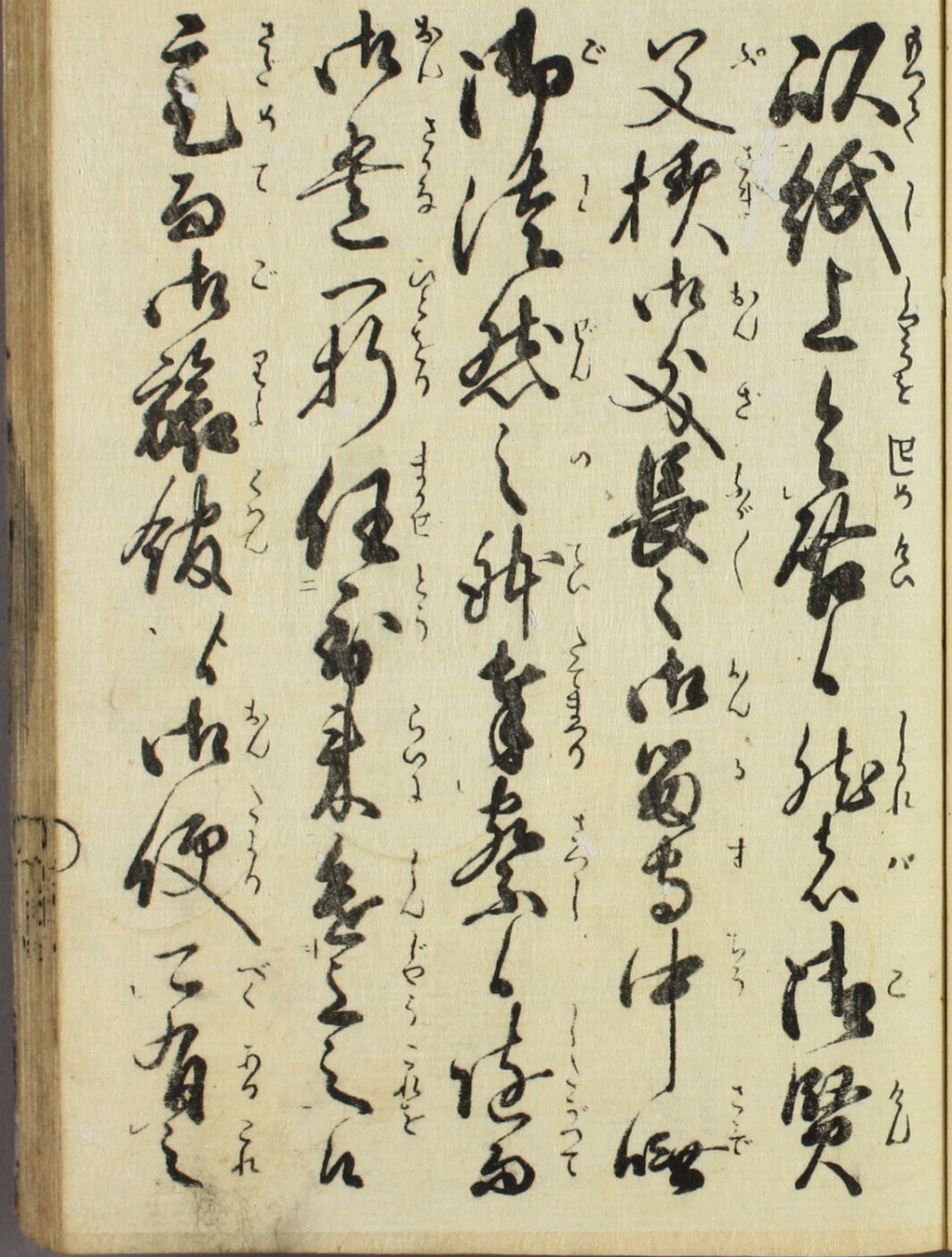
ゆく雪頼ノ文明橋ノ

神社仏閣名所旧跡ノ後

○旅行發駕出立旅立門出○海陸山川舟路○無滯無恙無異

餞別進物

砂糖　同漬物　金米糖
煮豆　茶　焼餅
味噌　同つくりの
鯉ぶつ　干鱈　焼ふ
田螺　煮ふ
手帳　乃半紙　紙ふ　大扇子
てぬぐひ　小扇子　旅まく
右の外　其ほう　食物
餞別ふるべき　ものを
菓子類　略



○尊父 父君 令父 親父 嚴父 老父 ○淋漓 淒然 ○旅宿 旅泊 船の ○幸便 便宜 音信 尋問 狀通 往反

○齊何 何齊 何卒 又 何も有之 又 何も有之候 又 何も有之候へ共 御免 罷出

風俗文選巻之十六

○高配賢配○靄聲高声

傳言

湯浴図之舞状

往書便一筆之啓達

春和之砌弥清栄来也通

當之地書翰之往来

仰而絶通之

彼此之解事

名舞未熟風見之為

致進上之御

湯治お應仕度趣申越候
まことや生國へ
歸國の節は
必ず立寄
可申候
礼等神佐

○湯治入湯沐○相湯補佐○全快快気快身快保平愈全愈　○温泉出湯

湯治見舞進物

粟子　まんぢう　さけ　醤油　着

昨夜御書中之趣
且御覧之事不
堪筆紙候
種々御懇情
忝奉拝候
周章仕候
杉節風兼
宜申事申
御道中之
休息之
中之度々
事乱筆
竹〻

〇昨夜昨晩〇無懇思不寄思
不設思不思議〇火難焼亡焼失

顛燒見舞
給着陣地
長顛燵
源九郎
義仲役

○大事見舞ニ狀ハ五千里ヲ上ニ三里ノ
ヨロシ○二三里ノ
ヨロシ○看トヲ字ニ
ヨロシ○立去（安堵○
同宿　仮宅　仮住居

火事見舞進物

酒

看ル　アヲリ　カヘス

又鰹燒ヲ方ニ

夜具　傘　茶ヲ　揮ル

味噌　香ノ物　毒ガ　蟲ヲ

五ヒン　ヒラ　ビン　ヒラ

包ミカヘル　酒醤油

右ノ通リ心得ヘキ事ニ候　鰹燒ノ儀ハ又ノ
ヨロシ

洪水見舞狀

格のごとくこれまた
作る練仕合
堂後にあり
○大水○數日○大雨強雨雨天續○
評定風聞人口聞傳○不辨理○難分不分明難解
○捨段捨外

同事中
夫丹前のごとくで
狂言番組
出水のため夜ニ入
番ごとく破壊

○病気見舞ニ行キ逢ハヾ病人今ハ如何ニ有ルヤ書ベシ
又看病人ヘ其病人ノ容体ヲ問ヒ時候ノ挨拶ヲモ書ベシ
又ハ病人ヘ見舞ノ書状ヲ遣ス書様ハ其病ノ軽重ニ随ヒ
ノ病ヲ扨ハ病気ニ有ルヤト書ベシ○看病人ヘ遣ス書状
ニハ病人ノ容体ヲ問ヒ時候ノ挨拶ヲモ書ベシ○自
分ノ病ニ遣ス書状ハ其病ノ軽重ニ随ヒ書様アルベシ

病気見舞ニ遣ス品

砂糖漬　氷砂糖　白ざらめ
うどん　干うどん　ふのやき
葛の餅　汁あそ　錬ようかん　むし餅
ゆべし　おもんじ
右ハ外ニ其病ニ時宜ノ品アルベシ
右ハ外ニ其病ニ時宜ノ品アルベシ

病気見舞ニ行キ逢ハヾ病人ヘ如何ニ有ルヤト書ベシ
又看病人ヘ其病人ノ容体ヲ問ヒ時候ノ挨拶ヲモ書ベシ
又ハ病人ヘ見舞ノ書状ヲ遣ス書様ハ其病ノ軽重ニ随ヒ

病気見舞ニ遣ス品

砂糖漬　氷砂糖　白ざらめ
うどん　干うどん　ふのやき
葛の餅　汁あそ　錬ようかん　むし餅
ゆべし　おもんじ

病気見舞ニ行キ逢ハヾ病人ヘ如何ニ有ルヤト書ベシ
又看病人ヘ其病人ノ容体ヲ問ヒ時候ノ挨拶ヲモ書ベシ
又ハ病人ヘ見舞ノ書状ヲ遣ス書様ハ其病ノ軽重ニ随ヒ

病気見舞ニ遣ス品

砂糖漬　氷砂糖　白ざらめ
うどん　干うどん　ふのやき
葛の餅　汁あそ　錬ようかん　むし餅
ゆべし　おもんじ

○瘡瘡　疱瘡○順痘　輕痘　輕瘡○氣儘　氣入　氣隨

疱瘡　人形　仰向　赤色　紅画　酒時

梅枝

一筆啓上仕候雅春

不義盛衰
二
生死去来
法力落書
白銀香封
唐綠香色
御慈悲
御霊前
奥之巻

まで
とて進上
御霊前
右御悔中上
度々申上
御霊前

○崩御　御他界　薨去　己上高貴の御事
不禄　卒去　諸大夫　遠行　諸士　遷化　帰寂　僧　死去　平人
○佛前　霊前　○供備　施供養　手向　○悔　吊　吊悔
香奠之品

香ん　只ん香　豆腐　湯波　らくらく　駱駝を見る
○梅、後梅の条、心早ばくらみつきよ
そうそう好よう其用文をかく
端書狐付封用　あらべつそ墨うすかすりもたこそべ一文字
長うそく行く又文好う実う何ま　あらくあごの文字書ますぐ

ま
ま
ま

客を招き
歌舞音曲遠く外
のくるわ一ぱいに響き渡れば
遊女百人神妙に勤る例歳
毎遊客作法
高指清盛仕舞ひ
不相変踊り
狂ひ将又
四国体そろひ
おもしろき客を
待ち越して
こゝ腰掛まで

○其後 其已來○絶而久々 久數 良久 永○無沙汰 物遠
疎遠 無音 遠々數 相隔 不音信 無音信○過日 相過○
無念 存外 案外
○四五日 以來 以前 以後 以上 以下 已上 已下 已
乃奥信用 相違

無事 康勝 無恙
來信 來書 來十四日之文

三四日 逗留 滯留 逗留 滯留
雇馬 雇舟 雇人 雇夫 雇車 雇乗物
雇風雨 雇双毛 雇鍾 十数 悉備
仕度 支度 用意 用意 用意
第一 第一 第一 第一 第一

書状の礼状

国元海辺警衛

[一]昨年御藩領海辺御警衛として御出張の節は、御苦労千万に存じ奉り候。[二]然れば御帰藩後早速御礼状を以て申し上ぐべき筈の処、[三]延引に及び候段、[四]如何にも不調法の至りに候。[五]其の節は[六]御家中一統[七]御手厚き御取扱を蒙り、[八]且つ[九]御家老様[十]御始め[十一]御重役様方[十二]御揃ひにて[十三]御丁寧なる[十四]御書面を[十五]以て[十六]御礼状[十七]御認めの上[十八]御使者を[十九]以て[二十]御贈物[二十一]迄[二十二]下され、[二十三]重ね重ね[二十四]忝き[二十五]仕合せに存じ奉り候。[二十六]幸ひ[二十七]当地[二十八]無事に[二十九]相暮し候間、[三十]乍憚御安心下さるべく候。[三十一]先ずは[三十二]取敢へず[三十三]御礼迄[三十四]如斯に[三十五]御座候。[三十六]恐惶謹言。

○用文おのおの礼状文を一つずつ作るべし。

つぎつぎひらく書べし。完成くつろぐ人の志を報ずる意

書ふみ用ひざるところの往こころの文は書てみばな

振舞令舎弟礼状
時々尓然
乱行狼藉御座
候通ニ而ハ
推参仕候
御免可被下候
不顧長座仕候
早速御来礼ニ
愚令朝参
こと久々数書面ニ
候礼迄

○佳肴珎味○食酔沉酔○導免高免用捨看怒看免
無是非無掘難去○失禮無礼

○書状文の名を汚ふる私用の手紙
くづくづ書用ゐ用事おゐ行ふ人の
甲子知心私用をんてゐる八甚しき
或ハ公ゐのまゐく甚名をよく
申をくべうず書状ハ包編者
ますこゐるべ人のんをよく
又人ゐ佛のかまへたりゐ甚ん弁用よ
ゐられますさく時ハ後ゐ記るまゐ

一筆啓上仕候恐惶謹言

御無礼御免被成下度
多罪恐惶頓首

用ゐ慶ゐ存ゐ候ま
用ゐ雖ゐ候ま

進上仕候
（二）
申上候書
忽堅儀
御
用
向
貴札厚
仕候
以
上

十一月廿日

御奉行様

御役人衆

御同役衆

御用人衆

御家来衆

御中間衆

御小人衆

御下女衆

御門番衆

御出入衆

御網仕候

お頼み礼状

○祝言ごと吹の堅文二ツ折しぬよ二ツ折目或の字形ようよう筆を留めて
ちょくちょく申べし一まの安否をうかゞひ長き書状又八十枚のうれも長き書べし法酒の十こいろも長き
月日のわか花押をかくべし一ツ物の吹ぬき文のごとく花押斗りかくあるとうずまきの
通ごとく記すの一ツ物ごとく書ぬき通るが記いたるごとくふところ文
房去迎状ぬきまき是ぬの文字書文ざる振ぬべし

婚礼進物

扇子　酒　鯛

帯地　指屋風　紙ぬ

嫁の方れ縁ぬの

反一巻　女大学　女今川　女庭訓　ぬのごとく

文箱　たゝうごみ　香づくし　きれいとぶんと

菓子ぬま　茶ぬこ　反ぬれぬ　化粧ぬ具ぬ

安産祝状

書中ニ澤ぬ云々の人今般
沸ぬ事ぬ中ニ澤ぬ安産
あらまし云々

○

○内室　令室　内相　内方
令婦　内儀

孝女人共
生前事実紀至
第弐之巻
産家進物
○愚婦愚妻
内助家苞
元服祝儀

名古屋入獄社員下平藤
藏出獄我社一同ニ歓喜ノ
至リ依テ左ノ如ク祝意ヲ
表シ度キ旨ヲ以テ発議
シタルニ満場一致賛成
ノ上ハ乍ラ御面倒ニ
ハ候ヘ共何卒御取
計ヒ相成度此段
御願申上候也

○愚息○教訓
教示 教喩

一筆啓上仕候
寒冷之候ニ
御座候ヘ共
貴堂御一
家様ニ
御揃ヒ
遊ハサレ
御目出度
奉存候

来般一重ニ而ハ不厚一同ニ
あやうべく まゝ
此事ハ法ニ
よう
よて敢而長論を
で ざ
望ミ
こゝろ
知命 五十九 耳順 六十九 還暦 辛戌 本卦ハ 還卦ハ 古稀 七十
朱年 分弐 鳩杖 九十九 白年ハ

〇成立 三十九の賀
不惑 四十九 初老ハ

〇年賀の為人より俳諧或ハ
をとるゝ 例のごとくものこと
まゝ
もとくたる 文あり
ちがひ
もと人社あをあつうべく
みぐび 岩に老ふ世づるあごの松
ふさ
茶の社ハ 砂つるうえまつ
ある 猿 くべく 其
うとうん或ハ枝 甲あど 老の助と
ある 又ハ 同 友待 歌の古事
我 他 ある 少 其事
をよみくをぶべ

源氏物語

和流行義林

菊紙を十帖深井清吉

ゆかしがる人に進ず

山雷信甫子を産む祝儀

遠年表

和流行義林

菊紙を十帖深井清吉

ゆかしがる人に進ず

山雷信甫子を産む祝儀

遠年表

和流行義林

菊紙を十帖深井清吉

ゆかしがる人に進ず

山雷信甫子を産む祝儀

遠年表

和流行義林

菊紙を十帖深井清吉

ゆかしがる人に進ず

山雷信甫子を産む祝儀

遠年表

和流行義林

菊紙を十帖深井清吉

ゆかしがる人に進ず

山雷信甫子を産む祝儀

遠年表

和流行義林

菊紙を十帖深井清吉

ゆかしがる人に進ず

山雷信甫子を産む祝儀

遠年表

まで上洛候事
別家歓状
一 当年者格別之豊作ニ而
一 米麦共ニ直段高直ニ而
一 御公儀様御勤向御滞
一 国中一統安穏ニ而
一 諸色共ニ直段高直ニ而
一 百姓共作方出精仕候間
一 奈良茶飯ニ而
一 諸事倹約ニ而
一 右之通相守可申候
家質渡状

一輪秋君と先ず今夜
何町家屋漏る夜半の秋
長雨や小田の畦の
出来かゝり
清風や藁屋の
門の

家督被仰付候
一筆啓上仕候益御安
来社極清爽
然者今般
お績ハ順風
程能御届
被遊御
祝着
奉存候
永々
御滞留
被成
下
難有
仕合
奉存候
扨又
御家運長久
目出度
一筆
申上候
御序
宜敷
御傳
可被
下候
恐惶謹言

○譲請　受継

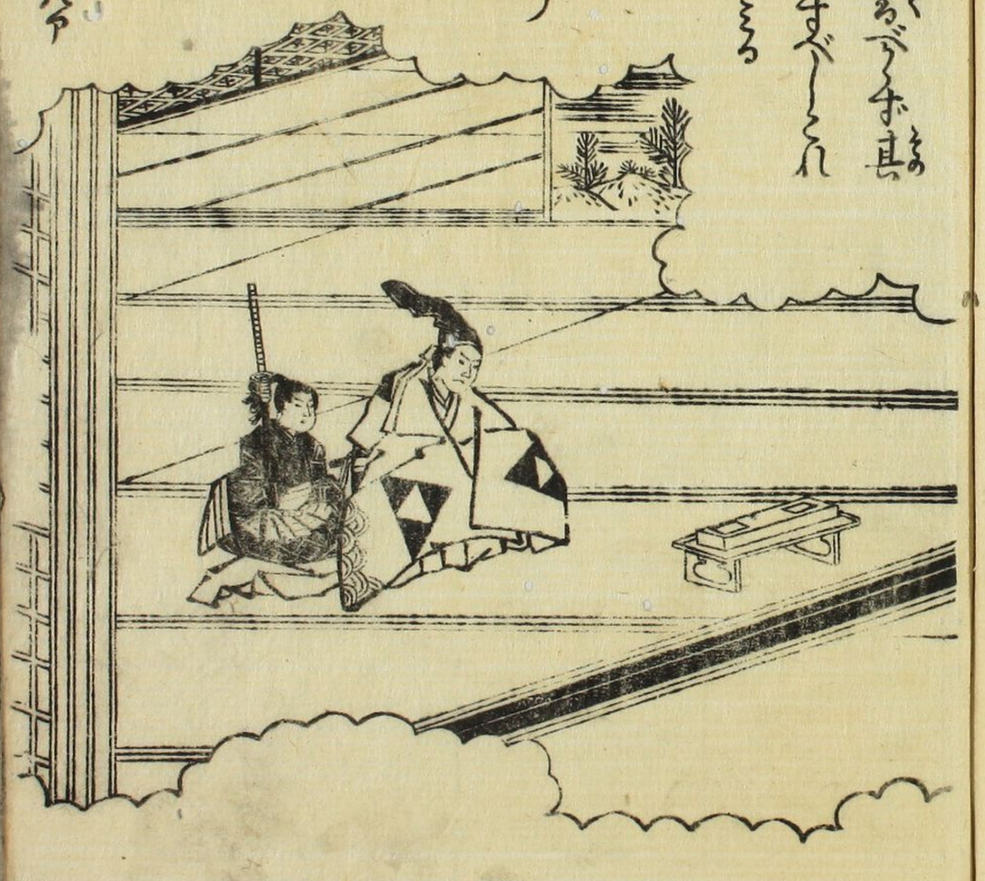
暑寒拘束

一筆奉啓上候甚暑の
節御座候得共
殿様益御機嫌能被
遊御座候恐悦至極奉存候

寒中
暑中 御窺奉申上候
名〻御逢被遊候御事
御前可然
成下度此段宜奉願上候
恐惶謹言

何野何某和泉披露

○貴人の前に上る時座ハ何某と申よし其家号の苗字を書べし又披露状ハ何某と書まじくハ又



尊卑の人乃安否を書べき事

人おゐてハ何某と状をつゝむ事すべしこれ披露状ハ其主人のこゝろ

もよりあれバ家来の

文ハ封じ色ざるあり

但し法ハ紙の端より

書おゐてハ三寸こゝろ

半切ハ一寸ばかり

三寸こゝろ一月かし

あらんのるこゝろ

これをこゝろえこゝの

とゝふ作ー者人名

月日とゝのるこゝろ

ことなり又その名下に判形を押すなり封ずるときは
〇凡そ書状は口脇をとくまきて封ずべし〇封押を
書ずして封ずるは失礼なり〇墨つぎは隈取るべし〇
名無ざる者は名又は称すべし但し貴人の名を
称するは憚あり〇つぐなぐず〇書状の文章の略
文と云ふ事あり〇さればとて世話事ばかりを
綴りたるは拙し〇文体は平生談話するごとく
中々二行ほど書べきことは余白まで書つゞけ
ようの二字ばかり細く二行に書べし又の
字まで書ことを嫌ふなり〇貴人の名を
書ことを嫌ふなり〇貴人の敬号をつゞけ
書べし〇名下に必ず二字の脇付をそへ〇書ざる
ことを欠字と云〇書ざる脇付を又書ざる
ことを通用と云名脇共に又かくのごとし

高下九段書分之図

凡そ書状は真中を境として分つなり
其人の名ほどの所より九段に
割て上下を用ゆべし

〇端書高下

一筆奉啓上候　上々
一筆啓上仕候　上中
一筆啓上仕候　上下
一筆啓上仕候　中上
一筆啓上仕候　中々

〇封状之式

上輩

〇上輩は画封目高くすべし中下はいまだ順ずくなるべし

中輩

下輩

〇

一 鬢掻上ル 中ノ々
一 筆持参ル 下ノ上
一 覚束ナク 下ノ中
一 筆人ニ代ル 下ノ々

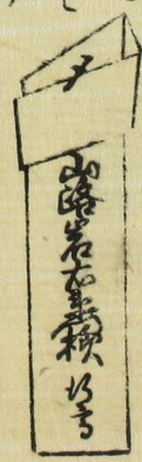
○返支端書高下

御書奉拝見候 上ノ々
尊書辱拝見候 上ノ中
芳札忝拝見候 上ノ下
貴書辱手翰候 中ノ上

○切封之式

○切封ハ五六分折返シ又ハ二ツ折ニシテ上ノ方ヲ細ク切リ封ヲツケ封ジメヲスルモノナリ

○捻扶之式



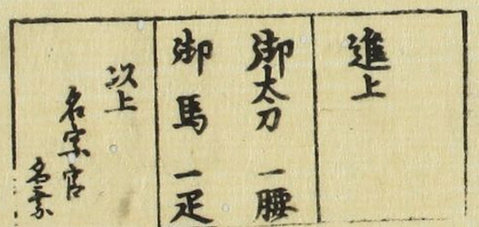
○捻文ハ封ノ所ヲ捻リ封ノ如クニシテ表ニ実名ヲ書ク表ニ封印ヲスルモノアリ

芳札忝拝見候 中ノ々
書札忝拝見候 中ノ下
尚更忝拝見候 下ノ上
少々拝啓仕候 下ノ中
筆面令啓上 下ノ々

○書留高下

恐惶謹言 上ノ々
恐惶謹言 上ノ中
恐惶謹言 上ノ下

○太刀折紙之式



○三ツ折ニシテ上ヲ後ヘ上ル乃チ合ハ二ツ折ノ合ト一ツ中ヲ後ヘ上ル合ハ二ツ折ノ合ト上ノ合ハ大ヤウ紙ノ大キサノ書人ヘ出ス時中紙ヲ後ヘ上ル合ト云ヒ又其後ハ折ヲ用ヒス其儘ニシテ進上御太刀御馬一疋ト書ク事ナリ上ノ御ノ字ヨリ一字サゲテ書ク事ナリ又ハ字サゲヲセズ其儘ノ字ニテ書ク事アリ又ハ其後ニ名乗ヲ書ク事アリ又ハ名乗ヲ書カヌ事アリ又ハ其後ニ何レガ持ト云フ事ヲ書ク事アリ

恐惶謹言　十ノ上
名
忌憚候　中ノ々
名
忌憚候　中ノ下
名
忌憚候　下ノ上
名
忌憚候　下ノ中
名
忌憚候　下ノ々
名

○御之字高下

御　上ノ々　御　上ノ中　御　上ノ下
御　中ノ上　御　中ノ中　御　中ノ下

○目録之式

奥島或ハ外のことも記し初ニ号数を附ケよろしく奥ニ又ハ後書ニ改言ニ及ハ記すこんりの用ニ而ハ宛所ニ及ハ時宜ニよりて用ゐるものなれハ初ニ記し中ニ而ハ略をおもふ奥をかくことハ上ニ而ハ記すハあり又ハ記さゞるハあり紙の位ニよりて人ニよりてこゝを用ふ最後ニ而ハ時宜によるべし

一御肴　一箱
一昆布　一折
一鯛　二尾
一御酒　一樽
一白銀　拾匁
己上
名

○廻状之式

○當名を高くかく事ハ廻状ニ限りて用ゐる

急ニ要用申遣候間
明朝未ノ十二刻ニ
本蔵中ニ集会可被相待候
十月廿日　名
名

○様之字高下

様　上ノ々　様　上ノ中　様　上ノ下
様　上ノ上　様　中ノ々　様　中ノ下
様　下ノ上　様　下ノ中　様　下ノ々

○殿之字高下

殿　上ノ々　殿　上ノ中　殿　上ノ下
殿　中ノ上　殿　中ノ中　殿　中ノ下
殿　下ノ上　殿　下ノ中　殿　下ノ々

次第ニ用ゐる

後義正ニ而ハ
拙者好ニ而ハ
拙夫共ニ而ハ

〇十二月之異名

正月　孟春　仲春
二月　暮春　如月
三月　弥生　卯月
四月　首夏
五月　皐月　仲夏
六月　水鶏　季夏
七月　新秋　文月
八月　葉月　仲秋
九月　晩秋　初冬
十月　神無月
十一月　霜月　仲冬
十二月　師走　季冬

右一帖書写旧物弘文堂不審者之介雖為童蒙初学年来為童蒙初学之手本切愛惜之

平安

山田貴月堂

細書画量一筆

京都書林　京寺町四條下町　近江屋佐太郎

唐本　仮書おゝよそ直段ハ廉外方より格別出精働き候ニ付
和本　多少ニ限らず求メニ応じ取揃へ置候ニ付外方ニ
古本　無之珍書古本類も不用ニ而ハ外方ニ

平假名附大字彫版　全
大字彫版　全
大字彫版　全